

業績ハイライト

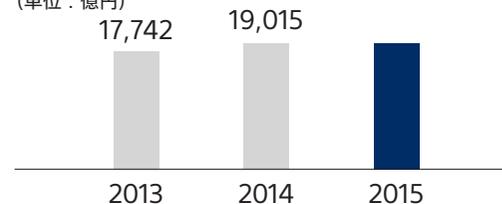
- 売上高及び営業収入(以下「売上高」)は、為替の影響や「プレイステーション 4」(以下「PS4®」)のソフトウェアの増収によるゲーム&ネットワークサービス分野の大幅な増収がありましたが、特別勘定における運用損益が悪化した金融分野の減収、及びスマートフォンの販売台数が大幅に減少したモバイル・コミュニケーション(以下「MC」)分野の減収があったことなどにより、全体ではほぼ前年同期並み。
- 営業損益は、主に、前年同期にMC分野において営業権の減損1,760億円が計上されていたことにより大幅な損益改善。

平均為替レート

	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	変化率
	円	円	%
1米ドル	103.9	122.2	15.0(円安)
1ユーロ	137.8	135.9	1.4(円高)

売上高

(単位: 億円)

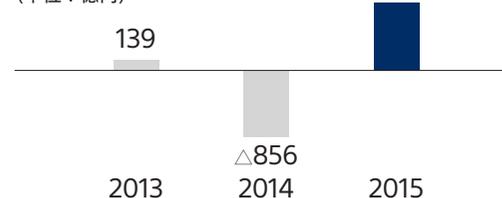


1兆8,927億円

前年同期比
△0.5%

営業利益(損失)

(単位: 億円)

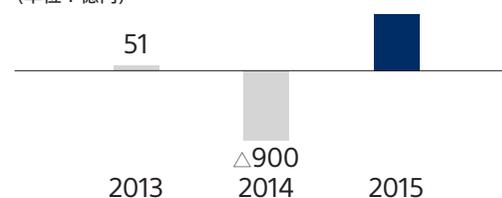


880億円

前年同期比
+1,736億円

税引前利益(損失)

(単位: 億円)

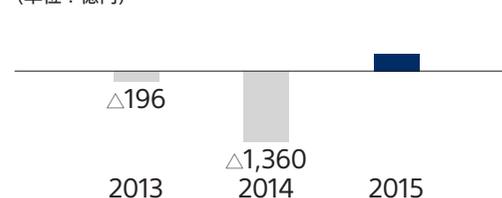


722億円

前年同期比
+1,621億円

当社株主に帰属する四半期純利益(損失)

(単位: 億円)

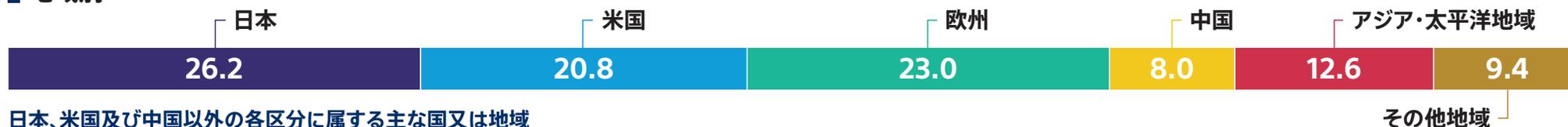


336億円

前年同期比
+1,695億円

売上高構成比 (単位：%)

地域別



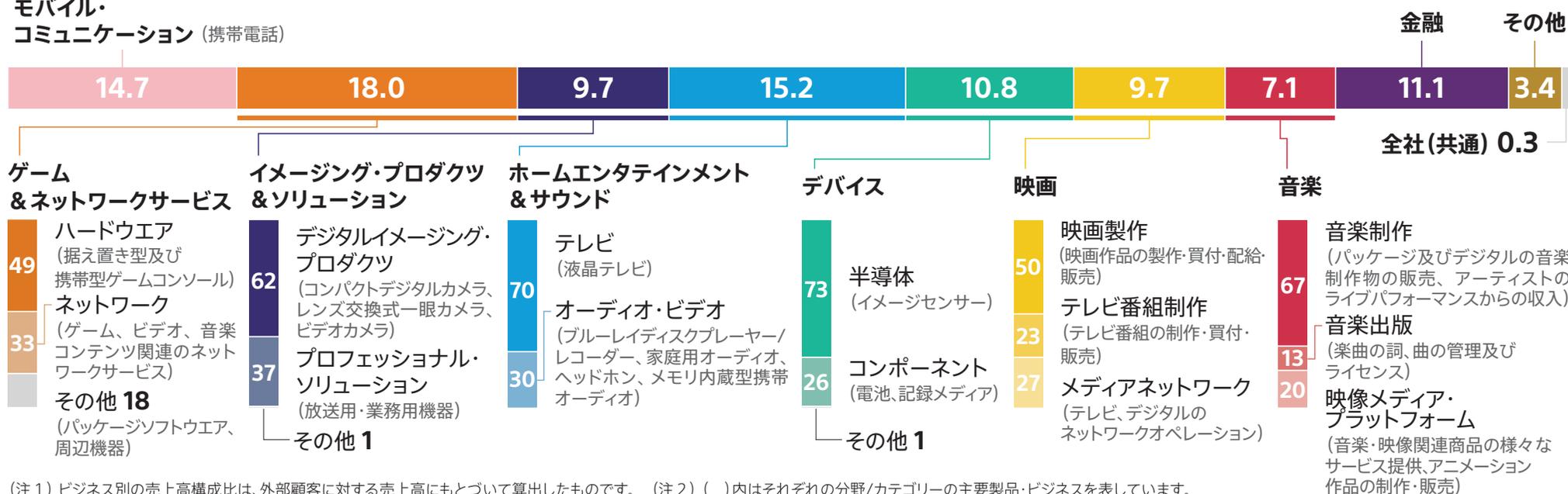
日本、米国及び中国以外の各区分に属する主な国又は地域

■ 欧州：イギリス、フランス、ドイツ、ロシア、スペイン、スウェーデン ■ アジア・太平洋地域：インド、韓国、オセアニア ■ その他地域：中近東/アフリカ、ブラジル、メキシコ、カナダ

(注1) 地域別の売上高構成比は、外部顧客に対する売上高にもとづいて算出したものです。(注2) 地域別の売上高構成比は、顧客の所在地別に表示されています。

ビジネス別

モバイル・コミュニケーション (携帯電話)



(注1) ビジネス別の売上高構成比は、外部顧客に対する売上高にもとづいて算出したものです。(注2) ()内はそれぞれの分野/カテゴリーの主要製品・ビジネスを表しています。

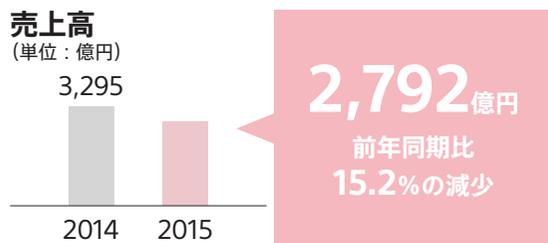
セグメント変更について

ソニーは、2015年4月1日付の組織変更にもとない、当年度第1四半期より、主にその他分野及びデバイス分野を従来構成していた事業を再編し、業績報告におけるビジネスセグメント区分の変更を行いました。この再編に関連して、従来のその他分野に含まれていた日本のディスク製造事業を音楽分野に、ソネット(株)及びその子会社をモバイル・コミュニケーション分野にそれぞれ統合しました。また、従来のデバイス分野に含まれていた純正車載オーディオ機器をホームエンタテインメント&サウンド分野に移管しました。以上のセグメント変更にもとない、各分野の過年度の財務数値を当年度の表示に合わせて組替再表示しています。

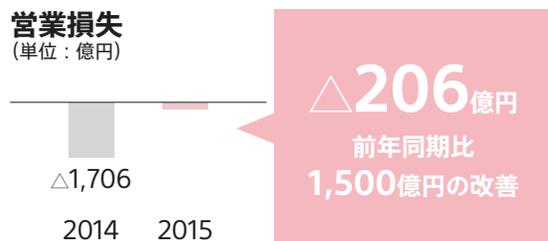
ビジネス別営業の概況

以下の説明における各分野の売上高はセグメント間取引消去前のものであり、また各分野の営業損益はセグメント間取引消去前のもので配賦不能費用は含まれていません。

モバイル・コミュニケーション分野

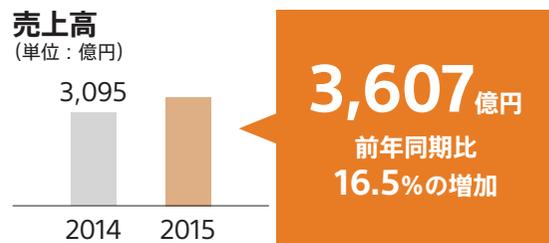


減収の要因
収益構造の改善に向け、売上規模を追わない戦略を徹底することによるスマートフォンの販売台数の大幅な減少

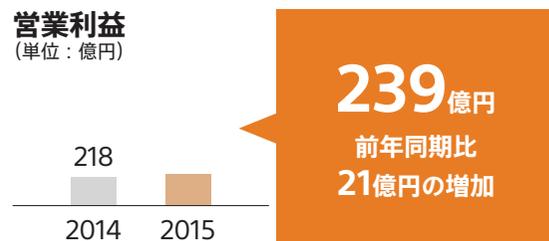


損益改善の要因
前年同期に営業権の減損1,760億円を計上していたことや、高付加価値モデルへのシフトによる製品ミックスの改善及びマーケティング費用、研究開発費などの削減など

ゲーム&ネットワークサービス分野

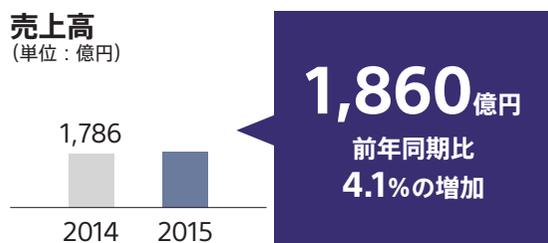


増収の要因
PS4®のソフトウェアの増収、ならびに為替の影響など

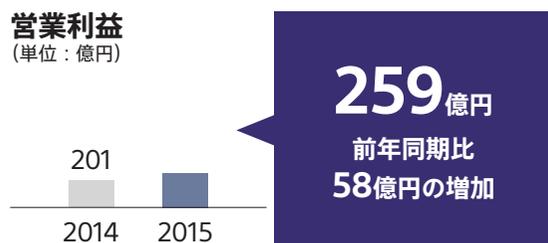


増益の要因
PS4®のソフトウェアの増収の影響など

イメージング・プロダクツ&ソリューション分野

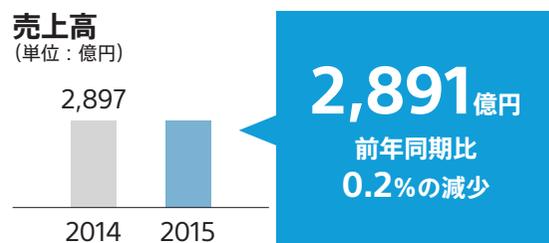


増収の要因
デジタルカメラにおける高付加価値モデルへのシフトによる製品ミックスの改善、及び為替の影響など

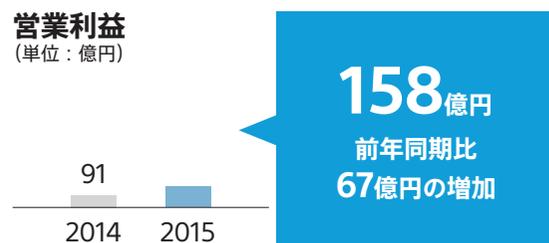


増益の要因
デジタルカメラにおける製品ミックスの改善、及び費用の削減など

ホームエンタテインメント&サウンド分野



減収の要因
家庭用オーディオ・ビデオの市場縮小にともなう販売台数の減少など

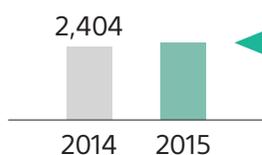


増益の要因
コスト削減及び製品ミックスの改善など

デバイス分野

売上高

(単位：億円)



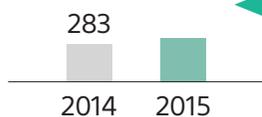
2,581 億円
前年同期比
7.4%の増加

増収の要因

為替の影響やイメージセンサーの
需要増加による増収など

営業利益

(単位：億円)



327 億円
前年同期比
44億円の増加

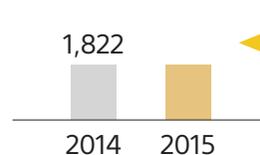
増益の要因

為替の好影響やイメージセンサーの
増収など

映画分野

売上高

(単位：億円)



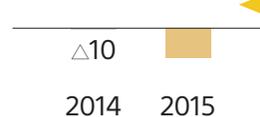
1,837 億円
前年同期比
0.9%の増加

増収の要因

米ドルに対する円安の影響など

営業損失

(単位：億円)



△225 億円
前年同期比
214億円の悪化

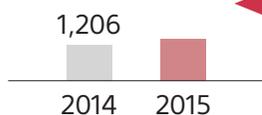
損益悪化の要因

映画製作の減収及び、前年同期に比べ
大型の劇場公開作品が多かったこと
による全世界での広告宣伝費の増加
など

音楽分野

売上高

(単位：億円)



1,387 億円
前年同期比
15.0%の増加

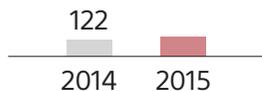
増収の要因

米ドルに対する円安の影響、ライブ
企画・制作やアニメーション作品の
増収による映像メディア・プラット
フォームの増収など

■ 当四半期にヒットした作品
デヴィッド・ギルモア「飛翔」、
フューチャー「DS2」、Maitre Gims
「Mon Coeur Avait Raison」など

営業利益

(単位：億円)



146 億円
前年同期比
24億円の増加

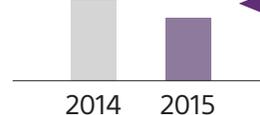
増益の要因

デジタルストリーミング配信売上の
増加にともなうミックス改善など

金融分野

金融ビジネス収入

(単位：億円)



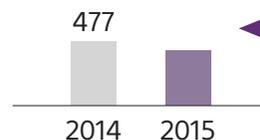
2,107 億円
前年同期比
21.8%の減少

減収の要因

ソニー生命保険(株) (以下「ソニー
生命」)の大幅な減収など
■ ソニー生命の減収：当四半期の
日本の株式相場が大幅に下落した
ことなどにともなう、特別勘定に
おける運用損益の悪化

営業利益

(単位：億円)



412 億円
前年同期比
65億円の減少

減益の要因

ソニー生命の減益など
■ ソニー生命の減益：前述の特別
勘定における運用損益の悪化に
ともなう、変額保険にかかる繰延
保険契約費償却額及び責任準備金
繰入額の増加など

* 金融分野には、ソニーフィナンシャルホールディングス(株) (以下「SFH」) 及びSFHの連結子会社であるソニー生命、ソニー損害保険(株)、ソニー銀行(株)等の業績が含まれています。金融分野に記載されているソニー生命の業績は、SFH及びソニー生命が日本の会計原則に則って個別に開示している業績とは異なります。

新商品情報

<http://www.sony.jp/>

スマートフォン

Xperia™ Z5



メインカメラに有効画素数約2,300万画素のイメージセンサーを搭載し、解像感の高い撮影を可能にするとともに、スマートフォンにおいて世界最速*にあたる0.03秒のオートフォーカス速度を実現しました。加えて、画面のロックを指紋認証で簡単に解除できるなど、利便性も向上させました。

* CIPA準拠。像面位相差AF時。2015年10月7日現在、各メーカーからの公式発表にもとづく。ソニーモバイルコミュニケーションズ(株)調べ。

「プレイステーション 4」



高い描写力と処理性能、様々なソーシャルとの融合、「プレイステーション ヴィータ」などとの連携を実現し、今までにないゲーム体験を提供するコンピュータエンタテインメントシステム。2015年11月22日に世界累計実売台数3,020万台を突破し、急速な普及拡大が続いています。

©2015 Sony Computer Entertainment Inc. All rights reserved.
Design and specifications are subject to change without notice.

レンズ交換式デジタル一眼カメラ

α7S II



有効約1,220万画素の35mmフルサイズExmor®(エクスマ) CMOSイメージセンサーを搭載し、最高ISO 409600*の圧倒的な高感度性能と広いダイナミックレンジなどを小型ボディに凝縮。暗所でもノイズの少ない高画質撮影ができるだけでなく、室内のスポーツシーンなどでも高速シャッターを使っでの撮影を可能にしました。

* 拡張感度設定時。

* 記載されている商品名などはソニー及び各社の登録商標あるいは商標です。

スマートウェア

SmartBand 2 SWR12



対応スマートフォンや対応タブレットと専用アプリケーションを組み合わせ、様々なライフログ(日常の記録)を活用するスマートウェアの新商品です。従来*1の加速度センサーを利用した歩数や睡眠情報、消費カロリーなどの記録に加えて、新たに心拍センサーを搭載したことにより、心拍数*2やストレスレベル*3を記録することが可能になりました。

* 1 『SmartBand SWR10』との比較。

* 2 『SmartBand 2 SWR12』は医療機器ではありません。本商品では、計測した「脈拍」「脈拍数」を「心拍」「心拍数」と表現しています。

* 3 本商品では、心拍の時間間隔の変化及び心拍数から、ストレスレベルを表しています。

「プレイステーション ネットワーク」



ゲームからテレビ、映像、音楽まで、ネットワークサービスを一元化して提供する総合的なデジタルエンタテインメントブランド、「プレイステーション ネットワーク」(PSNSM)。「プレイステーション 4」の急速な普及、拡大にともない、PSNSMのサービスをお楽しみいただくユーザーが着実に増え、2015年9月には単月ベースで過去最高の月間売上高を記録しました。

4K液晶テレビ ブラビア®

X9000Cシリーズ



新素材の採用とソニー独自の特許技術により、液晶テレビとして世界最薄*約4.9mmのスリムデザインを実現。付属の壁掛けユニットを使用して壁に絵画を飾るようにすっきりと設置できます。また、新開発の4K高画質プロセッサX1™(エクソワン)を搭載し、画質を左右する精細感、色彩、コントラストを大幅に向上させました。

* パネル部分/最薄部。20V型以上の民生用液晶テレビ市場において、2015年9月7日広報発表時点。

■ ヘッドホン h.ear™シリーズ / ウォークマン® 新Aシリーズ



詳細はこちら

「h.ear×WALKMAN®」スペシャルサイト



ハイレゾの豊かな音楽とともに、日常を鮮やかに彩る商品として、ヘッドホン新シリーズ h.ear™ (ヒア) 4機種と、ウォークマン® Aシリーズ 4機種を10月に発売しました。

シンプルで一体感ある造形と、深みのある色合いに単色で仕上げられたこれらの商品は、使う方のスタイルに自然と溶け込みながら、ハイレゾの豊かな音の広がりを、余すことなく再生します。

これらの商品を通じて、臨場感あるハイレゾの音楽をファッションブルに気軽に楽しむスタイルを、若い世代を含めたより多くの方々に向けて、ご提案してまいります。

最新映画情報

<http://www.sonypictures.jp/>

■ 007 スペクター



待望のシリーズ第24作。“スペクター”とは、ジェームズ・ボンド(ダニエル・クレイグ)の宿敵となる悪の組織。ローマ市街のカーチェイス、雪山の格闘、そして空中戦とアクションが展開、ボンドの封印された秘密が明かされます。

(2015年12月4日 日本公開)

SPECTRE ©2015 Danjaq, MGM, CPlI. SPECTRE, 007 Gun Logo and related James Bond Trademarks, TM Danjaq. All Rights Reserved.

■ ザ・ウォーク



1974年当時世界最高層だったニューヨークのワールド・トレード・センター。この二つのビルの間ワイヤーを張って渡った男フィリップ・プティの実話を、ロバート・ゼメキス監督が3Dで描く感動の映像エンタテインメント。

(2016年1月23日 日本公開)

©2015 TRISTAR PICTURES, INC. ALL RIGHTS RESERVED.

最新音楽情報

<http://www.sonymusic.co.jp/>

■ いきものがかり

「ラブとピース！/夢題～遠くへ～」



メジャーデビュー10周年記念イヤーに突入したいきものがかり。31枚目となる本シングルには、ドラマ主題歌として書き下ろした新曲とインディーズ時代に発表した楽曲をリ・アレンジしたバラードを収録。振れ幅の広い名曲2曲を味わえる充実の内容となっています。

(2015年11月3日発売)

■ 西野カナ

「Secret Collection ～RED～」
「Secret Collection ～GREEN～」



いまや男女を問わず全国から人気を集め、国民的アーティストとして今後さらなる活躍が期待される西野カナが、シングルのカップリング曲やアルバムのオリジナル曲の中から選りすぐりの楽曲を詰め込んだアナザーサイド・オブ・ベストアルバムを2枚同時に発売。

(2015年11月18日発売)

* 記載されている商品名などはソニー及び各社の登録商標あるいは商標です。

株式の状況 (2015年9月30日現在)

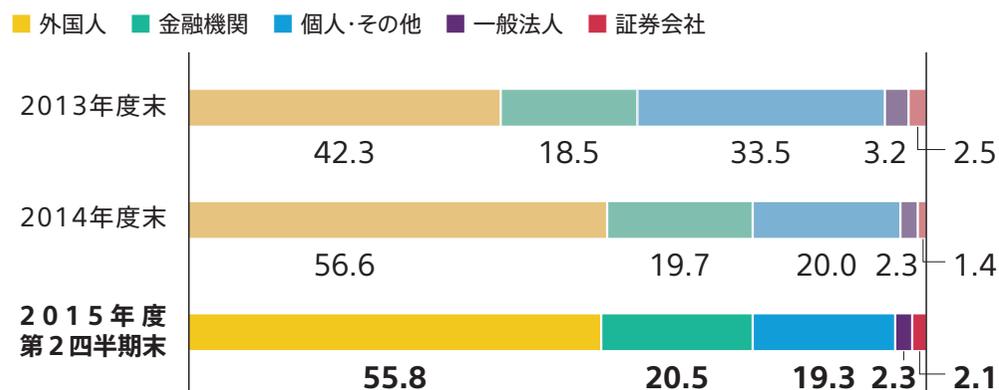
発行可能株式総数	3,600,000,000株
発行済株式の総数	1,262,215,860株
株主数	549,040名

単元株式数	100株
上場証券取引所	(国内) 東京 (海外) ニューヨーク

株式の所有者別状況

	2013年度末 (2014年3月31日現在)		2014年度末 (2015年3月31日現在)		2015年度第2四半期末 (2015年9月30日現在)	
	千株	名	千株	名	千株	名
■ 外国人	441,409	1,354	662,345	1,411	704,387	1,417
■ 金融機関	193,729	127	230,875	97	258,263	113
■ 個人・その他	349,811	682,846	233,457	531,164	244,036	544,215
■ 一般法人	33,653	3,578	27,203	2,797	28,787	3,202
■ 証券会社	26,105	95	15,893	53	26,744	93
合計	1,044,708	688,000	1,169,773	535,522	1,262,216	549,040

所有者別の持株比率 (単位：%)



大株主(上位10名)

株主名	所有株式数 千株	持株比率 %
Citibank as Depository Bank for Depository Receipt Holders (注1)	118,292	9.4
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) (注2)	62,194	4.9
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) (注2)	59,020	4.7
Goldman, Sachs & Co. Reg (注3)	38,328	3.0
State Street Bank and Trust Company (注3)	22,828	1.8
The Bank of New York Mellon SA/NV 10 (注3)	22,579	1.8
State Street Bank West Client - Treaty 505234 (注3)	18,314	1.5
State Street Bank and Trust Company 505225 (注3)	16,523	1.3
JPMorgan Chase Bank 385632 (注3)	16,168	1.3
State Street Bank and Trust Company 505223 (注3)	15,485	1.2

(注1) ADR(米国預託証券)の受託機関であるCitibank, N.A.の株式名義人です。

(注2) 各社の所有株式は、全て各社が証券投資信託等の信託を受けている株式です。

(注3) 主として欧米の機関投資家の所有する株式の保管業務を行うとともに、当該機関投資家の株式名義人となっています。